

令和7年度第6回SPODネットワークコア運営協議会 議事概要

日 時：令和8年2月4日（木）10：30～11：33

方 法：Zoom

出席者：別紙のとおり

議 題：

1. 第21回大学教育カンファレンス in 徳島の実施報告について【資料1】

徳島大学吉田准教授から資料1に基づき、第21回大学教育カンファレンス in 徳島の実施状況およびアンケートの集計結果について報告があった。アンケート結果を踏まえ、来年度の実施に向け広報活動を工夫していくこととなった。また、発表しやすい雰囲気づくりを目的として、参加者が気軽に発表できるような新たなカテゴリの導入について検討していくこととした。

2. 令和7年度SPOD分科会の実施報告について【資料2-1～2】

高畑FD専門部会長および久保SD専門部会長から、各分科会の実施状況について報告があった。

FD専門部会においては、理系・医療系等の分野別コンテンツの充実や、分野ごとのニーズに応じた講師派遣プログラムの改善案について、引き続き検討していくこととした。SD専門部会においては、アンケート等の意見を反映したプログラムの改善案を検討することとした。

今後、講師派遣プログラムにおけるテーマと内容の一致を求める意見に関して、講師と実施校担当者との事前打ち合わせの充実や、実施校の担当教員に企画段階から参画してもらうことなどについて検討していく。また、各専門部会においては、分科会で出された意見への対応を含む改善案について検討し、来年度の第2回コア会議までに取りまとめて報告することとした。なお、加盟校等からの意見の迅速な対応および改善につなげるため、分科会の開催時期をより早期に設定する方向で見直しを検討していくこととした。

3. 研修プログラム受講状況について【資料3-1～2】

事務局から資料3-1～2に基づき、SPOD公開プログラムの1月末時点の受講状況について説明があった。2月以降に実施するプログラムについては受講状況がまとまり次第、事務局まで報告いただきたい旨、依頼があった。

4. 令和7年度SPOD内講師派遣事業についてのアンケート集計結果について【資料4】

事務局から資料4に基づき、SPOD内講師派遣事業に対する担当者アンケートの集計結果について説明があった。また、中井議長から、自由記述欄に寄せられた意見を参考に、事務局および各専門部会において、今後のプログラムの開発等に取り組んでほしい旨の依頼があった。

5. 令和7年度SPOD事業総括について【資料5】

事務局から資料5に基づき、令和7年度SPOD事業総括に関するスライドの内容について説明があった。今後、事業評価、会計監査、総会の資料となるため、修正・追記事項がある場合は事務局まで連絡をお願いしたい旨の説明があった。

6. 令和7年度SPOD事業収支報告書について【資料6】

事務局から資料6に基づき、令和7年度SPOD事業収支報告書の内容と今後の支出見込みについて説明があり、原案のとおり了承された。調査研究費等、見込みで計上している支出額の修正については事務局に一任することとした。

7. 令和8年度SPOD事業計画について【資料7】

中井議長から資料7に基づき、令和8年度の大学教育カンファレンスの日程とプレSDの開催場所が確定したことについて説明があった。なお、プレFDの開催場所については、記載内容をFD専門部会で検討することとなった。

8. 令和8年度事業予算案及び共同事業契約における役割分担について【資料8-1~2】

事務局から資料8-1~2に基づき、令和8年度の加盟校の事業予算案、年会費の内訳案、役割分担案、研修料の変更について説明があり、原案のとおり了承された。繰越額の変更などに伴う事業予算案の修正については、事務局に一任することとした。

9. SPODフォーラム2026について【資料9-1~3】

中井議長から資料9-1~2に基づき、プログラムの作成状況および参加者企画枠の申請状況について説明があった。また、録画・配信（オンデマンド）対象の講義の選定については、開催校（愛媛大学）に一任いただきたい旨説明があり、了承された。会期中は、SPOD広報動画（ダイジェスト版）作成のため、随時、撮影する旨、説明があった。今後の予定として、4月初めに事務局から、フォーラム各講師へ事前確認事項（事前学習動画の有無、オンライン対応の可否、録画・配信対象者への撮影可否、資料の事前配布の可否の確認等）を照会する。続いて、徳島大学吉田准教授から資料9-3に基づき、前回説明のあった交流の場について、名称の変更案等について説明があった。会場については関係者間で協議することとし、当日は飲み物等、話しやすい雰囲気をつくるためのツールの設置についても検討することとなった。

10. その他

中井議長から、今回が令和7年度最後のコア運営協議会のため、今後審議する必要のある議題が発生した場合は、必要に応じメール審議としたい旨、説明があった

令和7年度 第6回ネットワークコア運営協議会出席者名簿

大学名	所 属	氏 名	担当	FD専門部会委員	SD専門部会委員
徳島大学	高等教育研究センター教育基盤開発部門 准教授	吉田 博	FD	○	
	高等教育研究センター教育基盤開発部門 助教	飯尾 健	FD	○	
	高等教育研究センターアドミッション・EM部門 助教	塩川 奈々美	FD	○	
	法人運営部 人事課長	林 三知夫	SD		○
	法人運営部人事課 副課長	大森 理佐	SD		○
	学務部教育支援課 課長, (兼)教育企画室長	真名野 佳代	事務		
	学務部教育支援課 副課長	白田 智子	事務		
	学務部教育支援課 教育企画係長	川上 ちぐさ	事務		
香川大学	大学教育基盤センター能力開発部長 教授	松本 洋明	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	蝶 慎一	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 特命講師	小坂 有資	FD		
	大学教育基盤センター能力開発部 特命講師	藤澤 修平	FD		
	教育・学生支援部修学支援課 課員	野崎 真湖	FD		
	企画総務部 次長(併:企画総務部給与福利課長)	入屋 充	SD		○
	企画総務部給与福利課 課員	奥野 鈴花	SD		○
	企画総務部給与福利課 課員	白石 喬子	SD		○
	教育・学生支援部教育企画課 係長	島 明日香	事務		
	教育・学生支援部教育企画課 課員	藤沢 勇汰	事務		
高知大学	学び創造センター 准教授	高畑 貴志	FD	◎	
	学び創造センター 准教授	杉田 郁代	FD		
	学び創造センター 特任講師	寺田 悠希	FD	○	
	学び創造センター(兼務) 准教授	俣野 秀典	FD	○	
	総務部人事課労務管理係 係長	岡田 美波	SD		○
	総務部人事課労務管理係 主任	橋田 由貴	SD		
	学務部学務課 課長補佐	吉岡 瞳	事務		
	高知大学学務課総務係 事務補佐員	廣末 和香子	事務		
愛媛大学	教育・学生支援機構 教授	中井 俊樹	議長・FD	○	
	教育・学生支援機構 准教授	清水 栄子	SD		○
	教育・学生支援機構 講師	上月 翔太	FD	○	
	教育・学生支援機構 特任助教	真鍋 亮	FD	○	
	教育・学生支援機構 特任助教	葛西 崇文	SD		○
	地域協働支援部 部長	久保 秀二	SD		◎
	総務部人事課 課長	堀金 守	SD		
	総務部人事課人事・人材育成チーム サブリーダー	小林 志穂里	SD		
	教育学生支援部 部長	桐野 律子	事務		
	教育学生支援部 教育企画課 課長	石川 尚	事務		
	教育学生支援部教育企画課総務チーム チームリーダー	西村 優作	SD・事務		○
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム チームリーダー	河内 貴博	FD・事務	○	
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム サブリーダー	小川 達也	事務		
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	向井 晴香	事務		
教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	森並 由衣	事務			

※◎は専門部会長

ネットワークコア運営協議会の構成員に関する申合せ(抄)
(組織)第2 協議会は、次の(1)～(4)に掲げる構成員をもって組織する。

- (1) 議長
- (2) 各コア校のFD担当者
- (3) 各コア校のSD担当者
- (4) 各コア校の事務担当者

「第21回大学教育カンファレンス in 徳島」の実施報告について

高等教育研究センター 教育基盤開発部門

1. 目的

SPOD 共通事業・徳島大学全学FD推進プログラム「大学教育カンファレンス in 徳島」について、過去の参加人数、発表者数、第21回参加者アンケート結果を振り返り、今後のプログラム改善に繋げる。

2. 平成26年度以降の参加者数及び発表件数について

「第21回大学教育カンファレンス in 徳島」は、2025年12月26日に徳島大学常三島キャンパスの対面会場での開催をメインとし、一部のプログラムをオンラインで配信するハイブリッド形式で実施した。すべてのプログラムを対面会場で実施し、口頭発表、特別講演・ディスカッションはオンライン配信を行い、対面会場の参加者数は99名、オンラインのみの参加者数は39名となった。オンラインによる参加者は全国から幅広くあり、学内外からアクセスしやすいカンファレンスになったと考える。発表件数については、例年並みの30件であった。今回は学内の参加者数が過去12年の中では最低であり、直近3か年は過去と比較して減少傾向にあると感じる。学内の教職員に対する広報を工夫していくことや、発表してもらえるように発表形式や支援の在り方を検討していく必要がある。

回	年度	日時	実施方法	参加者数		
				学内	学外	合計
第10回	平成26年度	12月26日(金)	対面	132	17	149
第11回	平成27年度	1月6日(水)	対面	163	17	180
第12回	平成28年度	12月27日(火)	対面	96	10	106
第13回	平成29年度	1月5日(金)	対面	136	18	154
第14回	平成30年度	12月26日(水)	対面	114	33	147
第15回	令和元年度	12月26日(木)	対面	110	14	124
第16回	令和2年度	1月8日(金)	オンライン	108	59	167
第17回	令和3年度	1月7日(金)	オンライン	158	57	215
第18回	令和4年度	12月27日(火)	オンライン(一部対面)	126	31	157
第19回	令和5年度	12月26日(火)	対面(一部オンライン)	101	41	142
第20回	令和6年度	12月26日(木)	対面(一部オンライン)	100	61	161
第21回	令和7年度	12月26日(金)	対面(一部オンライン)	83	55	138

	H26	H27	H28	H29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
口頭発表	16	19	14	14	14	15	15	16	18	16	16	16
ポスター発表	13	13	8	16	18	14	14	12	8	10	15	13
ワークショップ	3	2	1	3	2	2	2	2	1	2	5	1
合計	32	34	23	33	34	31	31	30	27	28	36	30

3. 過去3年間のアンケート回答者数と回収率について

回	年度	回答者数	回収率
第19回	令和5年度	52名	37%
第20回	令和6年度	67名	42%
第21回	令和7年度	70名	51%

4. アンケート集計結果及び令和7年度（第21回）の考察について

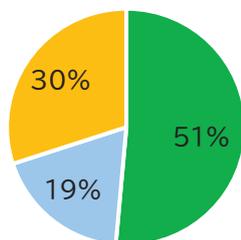
(1) 回答者自身について

職種	令和5年度 (第19回)	令和6年度 (第20回)	令和7年度 (第21回)
教員	35	83	42
職員	10	14	15
学生・大学院生	5	13	13
その他	2	2	0
未回答	0	0	0
合計(人数)	52	67	70

参加区分	令和7年度 (第21回)
発表者(研究代表)	22
共同研究者	11
参加者	36
運営・会場係	1
未回答	0
合計(人数)	70

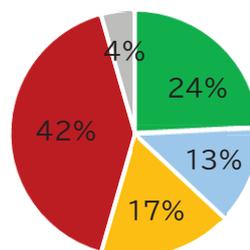
※(4)-(7)のみ過去3年間のアンケート結果と比較している

これまでの参加回数



- 今回初めて参加した
- 過去に1,2回程度参加した
- 過去に3回以上参加した

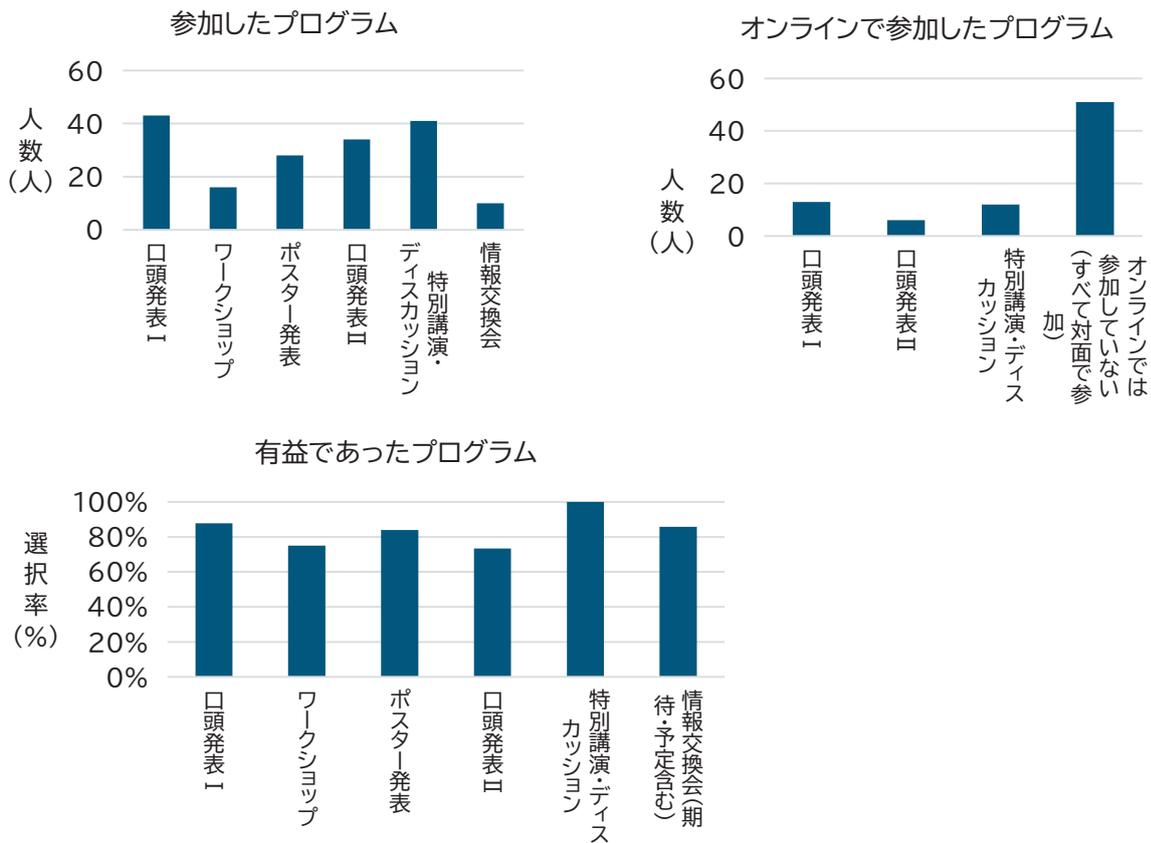
これまでの研究発表経験



- 今回初めて発表した
- 過去に1,2回程度発表した
- 過去に3回以上発表した
- 今回も含めて一度も発表していない
- 未回答

アンケートの回収率が約50%であることを踏まえた上での考察となるが、初めて参加したという参加者が約半数であり、過去に3回以上参加したことがある参加者が約30%である。発表経験については、今回初めて発表した発表者が約24%であり、過去の発表経験を含めると約半数の参加者に発表経験がある。本カンファレンスでは、できる限り多くの大学教職員に、各自の実践や興味のあることをテーマに発表していただきたいと考えている。発表の約20%は学生であり、主催者としては、ハードルの高い教育研究発表の場ではないと考えている。今後、発表経験のない参加者に発表していただけるよう、さまざまな工夫を検討していきたいと考える。

(2) 参加したプログラムについて（複数選択）



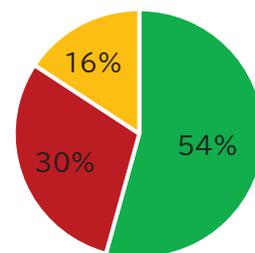
今年度も対面会場で実施し、一部のプログラムをオンラインで配信するハイブリッド型で実施した。対面会場の参加者は99名、オンライン参加者は39名であった。アンケート回答者のうち、すべて対面で参加した人は51名と過半数を超えており、プログラムの有益度はすべてのプログラムで選択率が70%以上である。このことから、いずれの方法で参加した場合でも、参加者にとって有益な内容を提供できていたと考える。

(3) 今後のカンファレンスにおける発表について

「来年度または数年以内のカンファレンスでの発表希望として当てはまるものを1つ選択してください。」という設問に対して、半分以上が「発表したいと思う」と回答しており、アンケート回答者に限定される結果ではあるが、主催者の想定より、発表する意志のある参加者の割合が高い結果となった。これらの回答者を実際の発表につなげていくには、もうひと工夫必要であると考えます。

また、この設問で「発表したいとは思わない」と回答した21名（30%）に対し、その理由を複数選択式で尋ねた設問では、「発表するアイデア（取

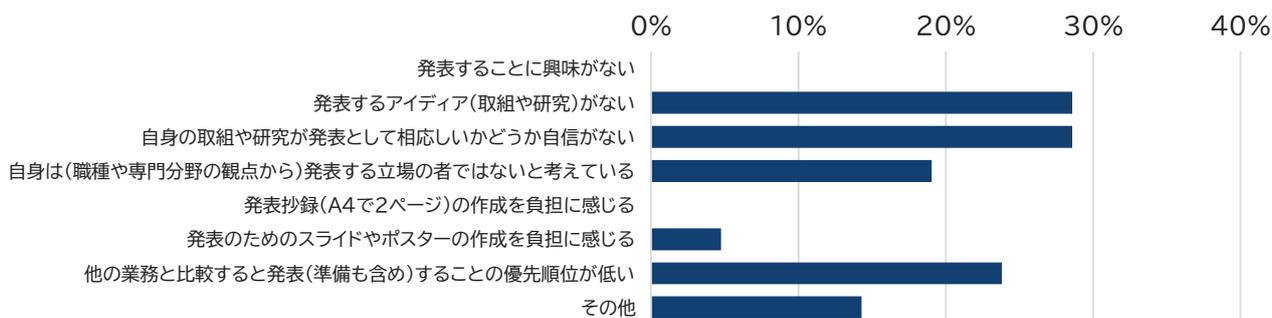
今後の発表希望について



■ 発表したいと思う
■ 発表したいとは思わない
■ その他

組や研究)がない」、「自身の取組や研究が発表として相応しいかどうか自信がない」という項目の選択率が最も高く、次いで、「他の業務と比較すると発表（準備も含め）することの優先順位が低い」、「自身は（職種や専門分野の観点から）発表する立場の者ではないと考えている」と続いている。この結果から、本カンファレンスの位置づけを明確にするとともに、より様々な職種や専門分野の教職員が発表しやすい形式を整えることや、発表に向けた支援の在り方を検討したい。

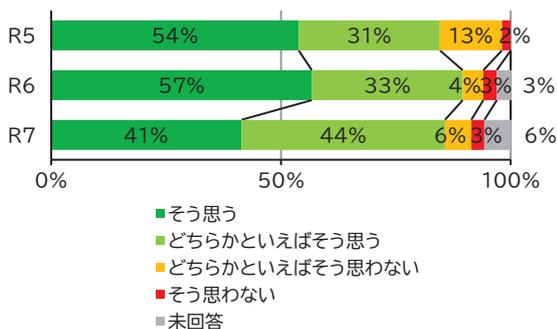
発表したいとは思わない理由（複数選択;選択率）（n=21）



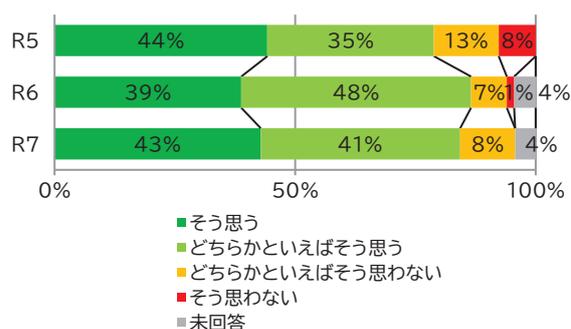
(4) カンファレンスの参加経緯について

「1. カンファレンスの目的や内容についてある程度知った上で参加した」、「2. 自分自身で能力開発の必要性を感じて参加した」という設問について、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した参加者は80%を超えている。カンファレンスは今年度で21回目を迎えることから、カンファレンスに参加する関係者にとっては、目的や意義が浸透していることが窺える。

1. カンファレンスの目的や内容についてある程度知った上で参加した



2. 自分自身で能力開発の必要性を感じて参加した

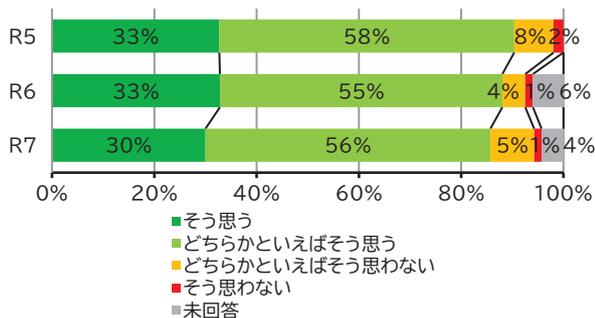


(5) カンファレンスの成果について

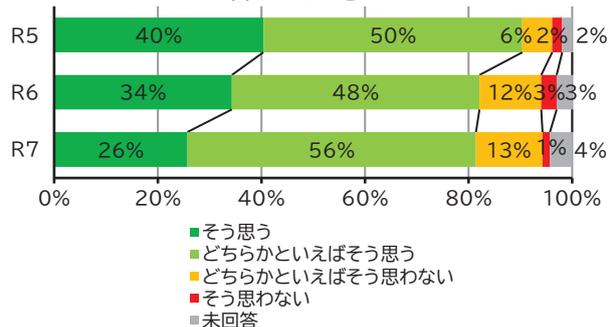
「3. 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた」、「4. 参加したことによって業務の取り組み方が改善されると思う」という設問について、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答をした参加者が80%以上であり、「5. 研究発表や各プログラムの内容を十分に理解できた」という設問については90%以上であり、過去3年間に引き続き肯定的な回答を得ている。これは研究発表の内容や特別講演のテーマ設定が参加者のニーズや興味に合致していること、研究発表者の研究が興味深く、発表が工夫されていたことなどが要因の一つにあると考える。今後も、多彩で魅力的な研究発表の投稿につなげていくためにも、引き続きカンファレンスのプレゼンスを高める努力をしていくことが必要である。

「6. 他の参加者との交流を深めることができた」については、過去3か年の中では最も高く、肯定的な回答が60%を超えた。対面参加者に限ってみると約83%が肯定的な回答をしており、3か年の結果を見る限りでは改善されているようにも感じる。「7.（特別講演参加者のみ回答）特別講演の内容は興味深かった」、「8.（特別講演参加者のみ回答）特別講演の内容についての理解が深まった」では、未回答の参加者を除くと（未回答の参加者は特別講演に参加していないとみなす）、ほとんどの参加者が肯定的な回答をしており、テーマ設定や内容、講師が魅力的であったことが窺える。

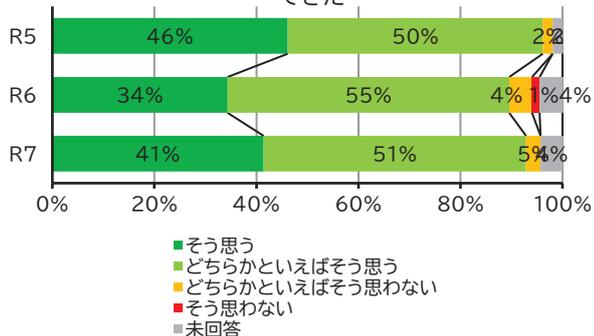
3. 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた



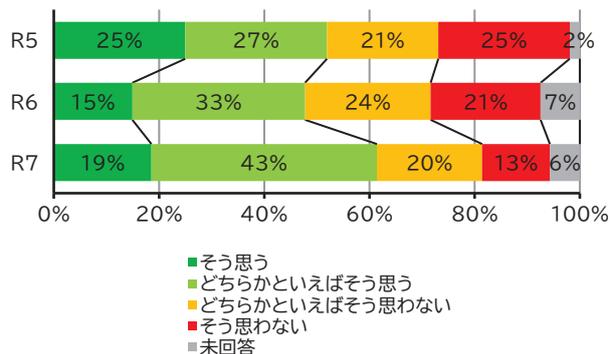
4. 参加したことによって業務の取り組み方が改善されると思う



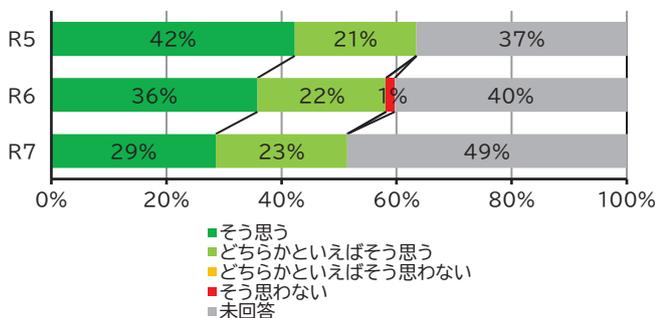
5. 研究発表や各プログラムの内容を十分に理解できた



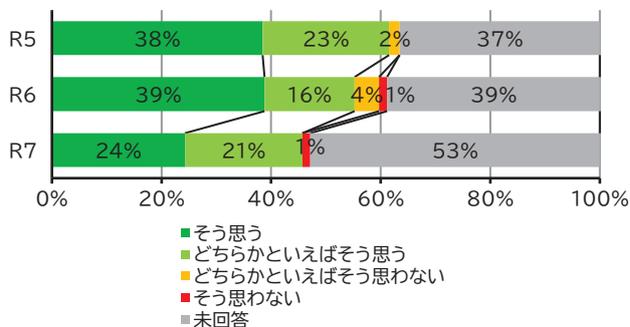
6. 他の参加者との交流を深めることができた



7. 特別講演の内容についての興味が深まった



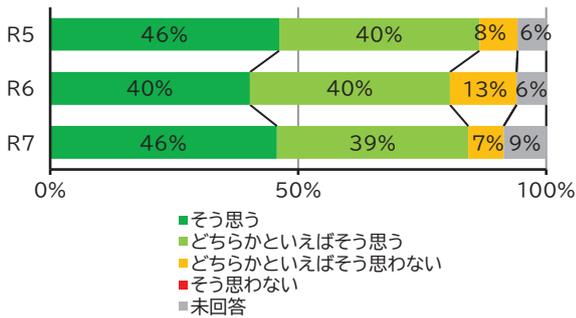
8. 特別講演の内容についての理解が深まった



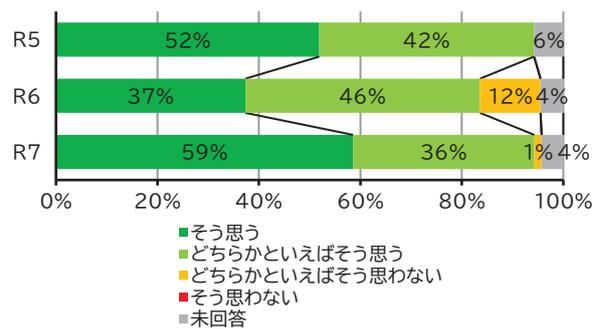
(6) カンファレンスの運営等について

「9. カンファレンスの会場（教室またはZoom）は快適な環境だった」という設問について、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した参加者が85%、「10. スタッフは手際よくカンファレンスを運営していた」、「12. スタッフの対応は丁寧だった」に関してはどちらも90%を超えている。今年度初めて設置した「休憩室」や「クローク」についても、利用している参加者がおり、効果的であったと考える。スタッフの対応についても、ハイブリッド型での実施が3年目となり、主催者としても運営に慣れてきているという実感もあり、その結果が窺える。

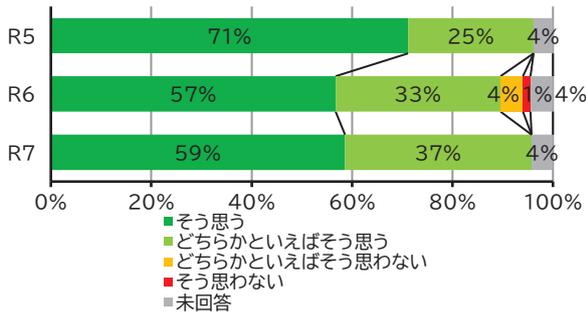
9. カンファレンスの会場(教室またはZoom)は快適な環境だった



10. スタッフは手際よくカンファレンスを運営していた



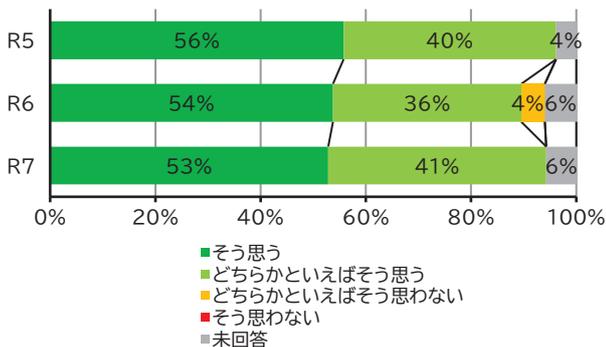
11. スタッフの対応は丁寧だった



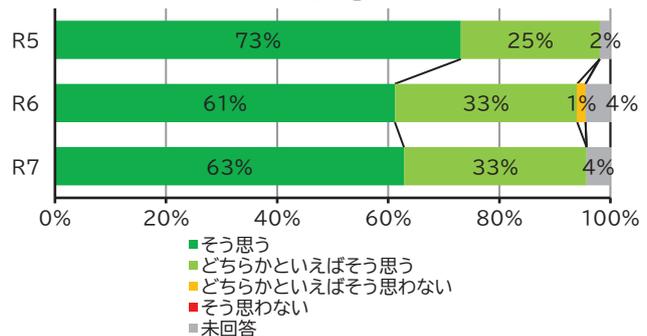
(7) カンファレンス全体について

「12. カンファレンスは全体的に満足できるものだった」、「13. 今後もこのカンファレンスを継続していくべきだと思う」について、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した参加者が90%を超えており、多くの参加者にとって満足できるカンファレンスであったものと推察できる。

12. カンファレンスは全体的に満足できるものだった



13. 今後もこのカンファレンスを継続していくべきだと思う



(8) 令和7年度「第21回大学教育カンファレンス in 徳島」自由記述について

参加して良かったと思われる点として、新しい発見があった、新たな視点を得ることができた、新鮮であったという意見が多く得られた。次いで、参加者同士のコミュニケーションや情報発信ができた、コメントをいただけたという意見が多く挙げられた。本カンファレンスは、「専門分野」における学会や研究会とは違い、「教育」という共通点のもとに、大学を超えて、立場の違う教職員や学生が集い、さまざまなタイプの教育実践等の発表が行われるという特徴がある。これによって、参加者は、普段は見聞きすることがない情報や実践、視点などに触れることができ、新しい知見を得ることにつながったと考えられる。また、発表者と参加者との距離も近く、意見交換がお互いにしやすい雰囲気であったことも窺える。主催者は、本カンファレンスを「アットホームな研究会」と表現して広報活動を行っている。参加することはもちろんのこと、発表を行うことで得られる価値を感じている参加者も少なからずいることが分かる。また、特別講演の内容について言及した意見も寄せられており、関心のある、充実した内容で実施できたと考える。この点は講師の佐藤万知先生に感謝申し上げたい。ハイブリッド形式の運営についても肯定的な意見が挙げられており、引き続き実施していきたい。

次に、参加者の少なさ、広報の課題が指摘されている。主催者としても、その点は十分に認識しており、次年度に向けて、新たな取組を取り入れていくなど、具体的な改善策を出していきたいと思う。テーマのニーズについては、生成 AI に関するものがいくつか挙げられている。生成 AI は、近年急速に技術が進展しており、教育においても重要な課題であると考えられる。次年度の特別講演のテーマとして有力候補になると考える。その他、参加者全員への名札（ネームホルダー）の提供、資料の事前配付や送付などの意見もある。開催時期については、よく挙げられる意見であるが、SPOD フォーラムとの兼ね合い、授業、学会シーズンなども踏まえると、なかなか調整が難しい課題である。今回挙げられた意見を踏まえて、次年度以降のカンファレンスの運営につなげていきたい。

カンファレンスに参加して良かった点・有益であった点などがあればお書きください。
近接領域でありながら、なかなか意見交換のできない方々とコミュニケーションする機会となった。
学生側の話が聴くことができた点がよかった。
新しい知見を得ることができた。
TA SA は講義を通して育てることを目標にしない方がいい、良い授業（受講生にとって、学位の到達目標を達成できるような）をすることこそが重要でその過程で育っていくことがよいのではないかと、という示唆をいただけたことです。開催いただき、ありがとうございました。とても充実していました。
教育に関する大事な示唆を得ることができました。また、他の教員の方が抱えている困難の一端も知ることができました。
TASA に関する新たな視点を得られた
ワークショップがとても有益でした。
今回の特別講演は、とても示唆に富んだ内容であり、業務上でも大変有益であったこと。
Zoom でも参加可能だったので業務を調整して参加で来ました。 ありがとうございます。

Edutoku のまとめを知りたくて部分的に参加しました。教育に関する情報源として有益だったものが終了してしまい、運営される先生方の考えや参加者の意見を知ることができて良かったです。看護教育の世界は基本となる教育学まで立ち戻ることをしない大学教員もいますが、このような機会は貴重でした。今後の活動も期待しています。
参加者方からご意見やコメントを頂けたこと。
日常の課題が取り上げられていた点
大学の教育現場で起きているさまざまな事例や取り組み、研究知見について新たに学ぶことができた。
オンラインでも参加できた点
他大学の類似事例と比較する機会は特に貴重だと感じた。
「アイデア創出」のとらえ方が、理系研究者と違う感じなのが、新鮮であった。
知らなかった研究分野などを知ることが出来る点。
学生の頑張りが感じられた。また、AI と授業のあり方について参加者の方々と議論することができたのは良かった。
自分の学びを整理し、アウトプットする良い機会になった!!
様々な取り組みを聞いて良かったです。自分の活動を整理するきっかけになった。
今後の授業を行うにあたって、有益な情報を得ることができた。各先生方の取り組みに刺激を受け、今後の研究に関するモチベーションを高めることができた。ワークショップでは、田巻先生をはじめ、担当の先生方が丁寧にフォローしてくださり、内容は難しかったです。途中であきらめることなく、やり遂げ、今後の研究や授業に役立てていくことができると感じた大変有意義な時間となりました。ワークショップの先生方大変ありがとうございました。感謝いたしております。「Edutoku」でメール（業務に目を追われ、心がささくれ立つ状況の時、お人柄あふれるメールにいやされていました。）を拝見しておりました。吉田先生に実際にお会いでき（お話しはしていませんが）、とても親近感がわくのを感じました。いつか、メーリングリストが、再開されることを熱望しています。
勉強になりました。ありがとうございました。
毎年継続して実施されていることに感謝します。学内の参加者が依然として少ないことが残念です。

カンファレンスをよりよいものとするために改善すべき点、または今後のカンファレンスで取り上げてほしい特別講演やワークショップのテーマ、あるいは新しい企画があれば具体的にお書きください。
連名発表者の扱いがよく分からなかった。
改善が必要と思われる点はありませんでした。スムーズな運営に感謝致します。
高等教育研修センター的な場所（機関）に何してほしいですかって、教員、職員にアンケートとってください。実際に何してる所か知らない、あるいは研修だけしているところでしょうっていう方が多そうで

<p>す。(その結果をもってして、高等教育研修センターって、だから必要でしょっていう風には持っていないにくいものでしょうか) どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>AI を活用した教育実践</p> <p>色々やりのこしたことがあります、会場参加ができませんでしたが、オンラインがあり、とてもたすかりましたので、オンラインの制度もこれからも続けて下さい。できれば、もう少し、多い方が有難いかなと。</p> <p>大変お世話になりました。</p> <p>高等教育センターの先生方のご苦勞も伝わってきました。仕事納の会の時間とも重複するなか、お疲れ様でした。</p>
<p>お世話になりました。ありがとうございました。</p>
<p>参加者全員のネームホルダーの配布があると嬉しい。あと報告の際に真っ暗にしなくてもいいかなと思いました。</p>
<p>今後は国内外への宣伝を強化することで、より多くの参加者の獲得につながると考えます。日本語を中心としつつ、英語での案内や一部セッションを取り入れることで、大学院生や外国人研究者、留学生も参加しやすくなると思います。また、異分野連携や若手研究者・学生向けのワークショップ、参加者同士の交流を促す企画を設けることで、カンファレンス全体の魅力向上と学生参加の促進につながると考えます。</p>
<p>生成 AI を活用した授業改善の事例と示唆</p>
<p>年末の最終勤務日のためか、例年にくらべて参加者が少なかったように思います。</p>
<p>教育工学、e-learning、AI など変化が早い最新のテクノロジーとそれに対応する教授法、クラス運営などについて</p>
<p>生成 AI の活用について</p>
<p>「教育開発」における学生的（受講者）視点、知りたい。</p>
<p>創出されたアイデアの詳細をもう少し知りたいと思いました。</p>
<p>スライドのデータを事前に送らせてもらいたいです。</p>
<p>今回、先生から直接声をかけていただき、カンファレンスに参加しました。とても有意義で次回以降も参加したいと思ったのですが、情報をどこで手に入れたらよいのでしょうか。学生により届くように情報発信していただけると嬉しいです。</p>
<p>今回が初めての参加でしたが、参加してとても良かったです。</p>
<p>ネット接続に時間がかかり、講演に集中できなかったのが残念でした。ワークショップの資料も事前にDL できたらよかったですと思いました。</p>
<p>ワークショップの間、講師が話している間に別の徳大関係者が長く話していたのはよくなかったと思います。</p>
<p>参加者にも名札を作ってほしい。</p>
<p>開催時期を再考していただきたい。(年末年始は避けてほしい)</p>

令和7年度SPOD FD、FD・SD共通、プレFDプログラム一覧

令和8年1月30日現在

日 程	プログラム名	開催大学	受講者数			内訳人数			参加校数		満足度
			対面	遠隔	計	教員	職員	その他	対面	遠隔	
4月10日(木)	合理的配慮が必要な学生への支援授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	80	80	70	10	0	0	13	97.5
4月17日(木)	合理的配慮が必要な学生への支援授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	79	79	66	13	0	0	16	100.0
4月23日(水)	会議マネジメント	愛媛大学	13	0	13	13	0	0	3	0	100.0
5月8日(木)	自己調整学習の視点からオンデマンド型授業を考える授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	84	84	73	11	0	0	12	100.0
5月15日(木)	自己調整学習の視点からオンデマンド型授業を考える授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	77	77	68	9	0	0	11	96.4
5月14日(水)～16日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(新任職員)	愛媛大学	115	0	115	0	115	0	12	0	98.1
5月21日(水)～23日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)	愛媛大学	6	0	6	0	6	0	5	0	
5月23日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)開講講義SD実践 I	愛媛大学	23	0	23	0	23	0	5	0	100.0
6月4日(水)	授業設計の方法	愛媛大学	16	0	16	15	0	1	2	0	100.0
6月10日(火)	学習評価の基本	愛媛大学	10	0	10	10	0	0	2	0	100.0
6月12日(木)	授業時間外学習を促す授業設計授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	83	83	69	12	2	0	15	100.0
6月19日(木)	授業時間外学習を促す授業設計授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	84	84	75	8	1	0	15	96.2
6月14日(土)・15日(日)	授業デザインワークショップ(第39回)	愛媛大学	12	0	12	12	0	0	12	0	100.0
6月17日(火)	アクティブラーニング入門セミナー	愛媛大学	8	0	8	8	0	0	2	0	100.0
6月18日(水)	大人数講義法の基本	愛媛大学	13	0	13	13	0	0	3	0	100.0
6月19日(木)・20日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅡ)	香川大学	37	0	37	0	37	0	11	0	100.0
7月7日(月)・8日(火)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)	愛媛大学	6	0	6	0	6	0	5	0	
7月10日(木)	学習評価の原則と方法 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	67	67	60	6	1	0	14	100.0
7月17日(木)	学習評価の原則と方法 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	62	62	56	5	1	0	16	100.0
8月1日(金)	大学の危機管理ーハラスメント対応	愛媛大学	19	0	19	15	4	0	5	0	100.0
8月1日(金)	学生面談の方法	愛媛大学	20	0	20	20	0	0	4	0	100.0
8月21日(木)・22日(金)	授業設計ワークショップ	徳島大学	21	0	21	21	0	0	2	0	95.2
8月27日(水)～29日(金)	SPODフォーラム2025	徳島大学	1373	194	1567	156	315	6	403	74	98.2
9月2日(火)	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザインー考え方と進め方ー	高知大学	15	0	15	15	0	0	3	0	100.0
9月3日(水)	高等教育政策論	愛媛大学	13	0	13	9	4	0	3	0	92.3
9月3日(水)～5日(金)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	徳島大学	2	0	2	2	0	0	1	0	100.0
9月3日(水)	ティーチング・ポートフォリオチャート作成ワークショップ	徳島大学	1	0	1	1	0	0	1	0	100.0
9月3日(水)・4日(木)	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	高知大学	18	0	18	18	0	0	1	0	100.0
9月4日(木)・5日(金)	ティーチング・ポートフォリオ作成・更新ワークショップ	愛媛大学	12	0	12	12	0	0	1	0	100.0
9月4日(木)・5日(金)	アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ(定員不充足のため中止)	愛媛大学									
9月4日(木)・5日(金)	新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	香川大学	15	0	15	15	0	0	2	0	100.0
9月17日(水)	学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計ー課題分析図の活用ー	愛媛大学	2	0	2	2	0	0	1	0	100.0
9月17日(水)	ARCS動機づけモデルを活用した学習意欲を高める授業設計	愛媛大学	2	0	2	2	0	0	1	0	100.0
9月11日(木)	eラーニング活用(入門編)ー学習支援システムMoodleソフトを活用してきめ細やかな学習支援を実現しようー	愛媛大学	7	0	7	7	0	0	3	0	85.7
9月11日(木)	通信制大学の学びから対面授業の意義を考える授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	49	49	42	6	1	0	9	90.9
9月18日(木)	通信制大学の学びから対面授業の意義を考える授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	49	49	45	4	0	0	10	92.3
9月16日(火)	動画教材作成法	愛媛大学	10	0	10	10	0	0	10	0	100.0
9月25日(木)	多様化するTAおよびTFの最新動向と授業での協働	香川大学	4	0	4	4	0	0	2	0	100.0
9月25日(木)	充実させよう！アクティブラーニング型授業ー話し合い・教えあいの技法	香川大学	5	0	5	5	0	0	3	0	100.0
9月26日(金)	充実させよう！アクティブラーニング型授業ー図解・文章作成の技法	香川大学	5	0	5	5	0	0	3	0	100.0
9月26日(金)	充実させよう！アクティブラーニング型授業ー問題解決の技法	香川大学	6	0	6	6	0	0	3	0	100.0
9月26日(金)	事例から学ぶ問題発見・解決型授業のコツ	香川大学	5	0	5	5	0	0	2	0	100.0

令和7年度SPOD FD、FD・SD共通、プレFDプログラム一覧

令和8年1月30日現在

日 程	プログラム名	開催大学	受講者数			内訳人数			参加校数		満足度
			対面	遠隔	計	教員	職員	その他	対面	遠隔	%
10月2日(木)・3日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅢ)	愛媛大学	34	0	34	0	34	0	12	0	96.9
10月9日(木)	学生の学習への動機づけを高める授業づくり 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	82	82	74	8	0	0	12	100.0
10月16日(木)	学生の学習への動機づけを高める授業づくり 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	79	79	71	7	1	0	11	100.0
10月16日(木)・17日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)	徳島大学	6	0	6	0	6	0	5	0	
10月30日(木)・31日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅠ)	愛媛大学	40	0	40	0	40	0	13	0	97.3
11月13日(木)	学生の能動的な学びを促すチーム基盤型学習 TBL 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	84	84	74	10	0	0	15	96.4
11月20日(木)	学生の能動的な学びを促すチーム基盤型学習 TBL 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	56	56	51	5	0	0	13	100.0
11月20日(木)・21日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅡ)	愛媛大学	27	0	27	0	27	0	10	0	100.0
11月19日(水)～21日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)	愛媛大学	6	0	6	0	6	0	5	0	
12月2日(火)	シラバス作成ワークショップ	愛媛大学	0	8	8	8	0	0	0	3	100.0
12月11日(木)	授業へのAIの活用 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	115	115	115	0	0	0	17	100.0
12月18日(木)	授業へのAIの活用 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	104	104	104	0	0	0	18	100.0
12月25日(木)	学生の学びを促すシラバスの書き方	香川大学	5	0	5	5	0	0	2	0	100.0
12月25日(木)	学生参加型授業の技法	香川大学	5	0	5	5	0	0	2	0	100.0
12月25日(木)	基礎から学ぶ学習評価法	香川大学	5	0	5	5	0	0	2	0	100.0
12月26日(金)	シラバス・授業を改善しよう!	香川大学	4	0	4	4	0	0	2	0	100.0
12月26日(金)	第21回大学教育カンファレンスin徳島	徳島大学	99	39	138	75	38	25	15	19	94.0
1月8日(木)	学生が自ら考え主体的に学習するための授業づくり 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	90	90	83	7	0	0	15	95.2
1月15日(木)	学生が自ら考え主体的に学習するための授業づくり 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	0	82	82	72	10	0	0	16	100.0
1月22日(木)・23日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第5回)	高知大学	6	0	6	0	6	0	5	0	#DIV/0!
1月23日(金)	試験問題・レポート課題の作成	愛媛大学	0	13	13	13	0	0	0	6	90.9
2月2日(月)	グループワークのためのファシリテーション入門	高知大学			0						#DIV/0!
2月2日(月)	新任教員のためのリフレクションセミナー	高知大学			0						#DIV/0!
2月3日(火)	学生の主体的な学びを促す非同期型オンライン授業	高知大学			0						#DIV/0!
2月5日(木)	社会人大学院生の学びと支援 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学			0						#DIV/0!
2月12日(木)	社会人大学院生の学びと支援 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学			0						#DIV/0!
2月18日(水)	留学生とのコミュニケーション	愛媛大学			0						#DIV/0!

令和7年度SPOD加盟校内講師派遣プログラム一覧(開催日順)

開催日	プログラム名	開催校	対象	講師所属校	講師	開催形式	受講者数		参加校数	満足度
							対面	遠隔		
2025年6月6日(金)	大学の授業と著作権	高知リハビリテーション専門職大学・高知学園大学・高知学園短期大学	学内限定	高知大学	高畑 貴志	遠隔	38	18	3	94.9
2025年6月27日(金)	教学の基礎と政策動向	徳島大学	学内限定	愛媛大学	真鍋 亮	対面	40	0	1	97.0
2025年7月3日(木)	学生の主体性を促す学習支援	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	学内限定	香川大学	蝶 慎一	対面	47	0	1	85.4
2025年7月4日(金)	大学教職員の倫理－学生との関係を省察する	徳島工業短期大学	SPOD加盟校開放	愛媛大学	上月 翔太	対面	21	0	2	100.0
2025年7月18日(金)	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	岡山理科大学獣医学部	学内限定	香川大学	蝶 慎一	対面	17	0	1	78.6
2025年7月29日(火)	組織の力を引き出す観察力養成講座	愛媛県立医療技術大学	学内限定	愛媛大学	仲道 雅輝	対面	37	0	1	100.0
2025年7月31日(木)	事例から考えるハラスメント	今治明德短期大学	学内限定	愛媛大学	高木 佳代子	対面	27	0	1	100.0
2025年7月31日(木)	授業構成を考えるためのインストラクショナルデザイン	弓削商船高等専門学校	学内限定	愛媛大学	仲道 雅輝	対面	42	0	1	92.9
2025年8月4日(月)	アカデミック・アドバイジング入門	高知工業高等専門学校	学内限定	愛媛大学	清水 栄子	対面	30	0	1	92.3
2025年8月18日(月)	学生の文章力をいかに高めるか－ライティング指14導を改善する	香川県立保健医療大学	学内限定	愛媛大学	上月 翔太	対面	31	0	1	100.0
2025年8月26日(火)	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	鳴門教育大学	学内限定	愛媛大学	阿部 光伸	対面	21	0	1	95.0
2025年9月1日(月)	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	高知大学	県内のSPOD加盟校開放	愛媛大学	阿部 光伸	対面	31	0	3	96.2
2025年9月1日(月)	大学教職員の倫理－学生との関係を省察する	人間環境大学松山看護学部及び総合心理学部	学内限定	愛媛大学	上月 翔太	対面	56	0	1	95.7
2025年9月2日(火)	高等教育機関の職員に必要な能力と専門性	香川短期大学	学内限定	人間環境大学	吉田 一恵	対面	42	0	1	88.2
2025年9月8日(月)	業務DX入門	高知工科大学・高知県立大学	学内限定	愛媛大学	真鍋 亮	対面	38	0	2	94.3
2025年9月8日(月)	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	学内限定	香川大学	西本 佳代	対面	51	0	1	87.8
2025年9月10日(水)	職員のためのわかりやすい説明入門	香川大学	SPOD加盟校開放	愛媛大学	上月 翔太	対面	34	0	3	100.0
2025年9月10日(水)	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	学内限定	愛媛大学	真鍋 亮	遠隔	0	35	1	92.9
2025年9月10日(水)	これからの教職協働	高松大学・高松短期大学	学内限定	愛媛大学	清水 栄子	対面	59	0	1	95.8
2025年9月11日(木)	大学の授業と著作権	四国大学・四国大学短期大学部	県内のSPOD加盟校開放	高知大学	高畑 貴志	遠隔	0	141	2	96.0
2025年9月19日(金)	職員のためのわかりやすい説明入門	香川高等専門学校	SPOD加盟校開放	愛媛大学	上月 翔太	対面	23	0	4	100.0
2025年9月25日(木)	これからの教職協働	高知健康科学大学	学内限定	愛媛大学	清水 栄子	対面	18	0	1	100.0
2025年9月26日(金)	発達障がいのある学生に配慮した授業づくり	阿南工業高等専門学校	県内のSPOD加盟校開放	愛媛大学	三浦 優生	対面	44	5	1	97.9
2025年10月1日(水)	大学教職員として知っておきたい高等教育論入門	せとうち観光専門職短期大学	学内限定	愛媛大学	真鍋 亮	対面	18	0	1	100.0
2025年10月28日(火)	事例から考えるハラスメント	松山大学・松山短期大学	学内限定	愛媛大学	高木 佳代子	対面 動画視聴	62	170	1	88.5
2025年11月27日(木)	学生の文章力をいかに高めるか－ライティング指導を改善する	新居浜工業高等専門学校	学内限定	愛媛大学	上月 翔太	対面	44	0	1	96.4
2026年1月23日(金)	試験問題・レポート課題の作り方	愛媛大学	県内のSPOD加盟校開放	徳島大学	飯尾 健	遠隔	0	13	6	90.9